

東京国立近代美術館70周年記念展 重要文化財の秘密

「問題作」が「傑作」になるまで



開館時間:午前9時30分~午後5時 ※金曜・土曜は午後8時まで開館
※入館は閉館の30分前まで 休館日:月曜日(3月27日、5月1日、8日は開館) 主催:東京国立近代美術館、毎日新聞社、日本経済新聞社 協賛:損害保険ジャパン、大伸社
問い合わせ:050-5541-8600(ハローダイヤル)
※開催情報は変更になる場合があります。 ※展示作品、展示期間については、変更する場合があります。最新情報は展覧会公式ウェブサイトにてご確認ください。 ※会期中展示替えがあります。



史上初、ぜんぶ重要文化財
※明治以降の絵画・彫刻・工芸のうち重要文化財に指定された作品
2023年3月17日(金) - 5月14日(日)
東京国立近代美術館 [竹橋]

近代美術の重要文化財、全68件中51点が全国から集結

東京国立近代美術館は1952年12月に開館し、2022年度は開館70周年にあたります。これを記念して、明治以降の絵画・彫刻・工芸のうち、重要文化財に指定された作品のみによる豪華な展覧会を開催します。とはいえ、ただの名品展ではありません。今こそ「傑作」の呼び声高い作品も、発表された当初は、それまでにない新しい表現を打ち立てた「問題作」でもありました。そうした作品が、どのような評価の変遷を経て、重要文化財に指定されるに至ったのかという美術史の秘密にも迫ります。

重要文化財は保護の観点から貸出や公開が限られるため、本展はそれらをまとめて見ることで見る得がたい機会となります。これら第一級の作品を通して、日本の近代美術の魅力を再発見していただくことができるでしょう。

ピンチヒッターが特大ホームラン

菱田春草《黒き猫》

1910(明治43)年 永青文庫蔵(熊本県立美術館寄託)

この年初めて文展の審査員を委嘱された春草は屏風の大作に挑みましたが、どうしても納得がいらずそれを破棄、急遽、近所の焼き芋屋の猫を借りてきて、わずか5日間で仕上げたのが本作でした。とはいえ、短期間の制作でもそれまでの研究の蓄積が凝縮されています。こちらを見据える黒猫は輪郭のぼかしにより柔らかな毛並みが見事に表され、金泥による柏の葉との色彩の対比も鮮やか。写実と装飾が見事に一致した傑作と高い評価を得ました。

展示期間 **5月9日-5月14日**



日本画

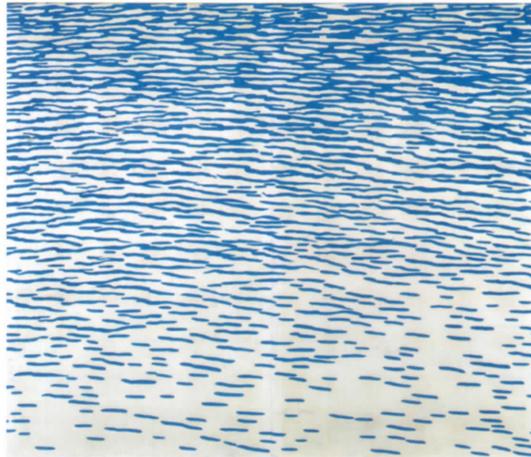
新しく重要文化財の仲間入り

楠木清方《築地明石町》

1927(昭和2)年 東京国立近代美術館蔵
©Akio Nemoto 2022 JAA2200152

2022(令和4)年度指定、最新の重要文化財です。長く行方がわからず「幻の名作」とされてきましたが、2019年に東京国立近代美術館が収蔵しました。美人画の名手として知られる清方ですが、制作の主眼は、関東大震災以降に失われた明治の面影を残し伝えることにありました。描かれた女性の仕草のとおり、遠く明治をまさに「振り返って」いるのです。

展示期間 **3月17日-4月16日**



水面のきらめきを表す秘密

福田平八郎《漣》

1932(昭和7)年 大阪中之島美術館蔵

一見、抽象絵画に見えるかもしれませんが。発表当時、「今年の日本画中で、もっとも問題を提起するもの」で「果してこれが画か、模様か」とも評されましたが、作者は琵琶湖で釣りをしながら湖面のきらめきに興味を覚え、スケッチを繰り返し、また友人の写真家の協力も得て構想をまとめたといひ、実際には綿密な自然観察から生み出されています。水面に反射する光は、金箔の上にさらにプラチナ箔を貼ることで輝かしい効果を生み出しています。

展示期間 **3月17日-4月16日**

描かれて、震災を潜り抜け100年



全長40m!

全体図

部分図

横山大観《生々流転》

1923(大正12)年 東京国立近代美術館蔵

山奥の一滴の水が、やがて集まり溪流となって、大河となり海へと注ぎ、嵐とともに龍となって天へと還るといふ水の輪廻を表した水墨絵巻。全長40mあるため、東京国立近代美術館でも1階の細長い展示スペースでしか全部を広げられません。従って全貌を見られる機会は数年に一度、お見逃しなく。ちなみに2023年は本作が描かれてちょうど100年。展覧会初日に関東大震災が起きましたが救い出されました。40mを巻き取るのはさぞかし大変だったでしょう。

展示期間 **通期**

東京国立近代美術館70周年記念展 重要文化財の秘密

史上初、

ぜんぶ重要文化財

菱田春草
《黒き猫》

5月9日から
5月14日
まで展示



菱田春草（黒き猫）部分 1910（明治43年）重要文化財 永代文庫蔵 東京国立近代美術館蔵

開館時間:午前9時30分~午後5時 ※金曜・土曜は午後8時まで開館 ※入館は閉館の30分前まで 休館日:月曜日(3月27日、5月1日、8日は開館) 主催:東京国立近代美術館、毎日新聞社、日本経済新聞社 協賛:損害保険ジャパン、大伸社 問い合わせ:050-5541-8600(ハローダイヤル) ※開催情報は変更になる場合があります。※展示作品、展示期間については、変更する場合があります。最新情報は展覧会公式ウェブサイトにてご確認ください。

近代美術の傑作たち、全国から集結
2023年3月17日(金)-5月14日(日)
東京国立近代美術館[竹橋]

Hours: 9:30 a.m.-5:00 p.m. (Fri and Sat until 8:00 p.m.) *Last admission 30 minutes before closing Closed: Mondays (except March 27, May 1, 8) Check the museum website for news and notices prior to your visit.

※明治以降の絵画・彫刻・工芸のうち重要文化財に指定された作品
※会期中展示替えがあります。



目で触るような 質感へのこだわり

高橋由一《鮭》

1877(明治10)年頃 東京藝術大学蔵

油絵で最初の重要文化財指定(1967年)。西洋から新たに学んだ油絵で、従来の日本の技法材料では困難だった本物そっくりの描写が可能となったことへの素直な感動が表されています。由一の興味は、とくに質感表現にあったようで、半身が切り取られているのも、ごわごわした皮と脂ののった身との質感の対比を表したかったからに違いありません。その意味では鮭を吊るす縄にもご注目。鱗の毛羽立ちまでリアルに描かれています。

展示期間 通期

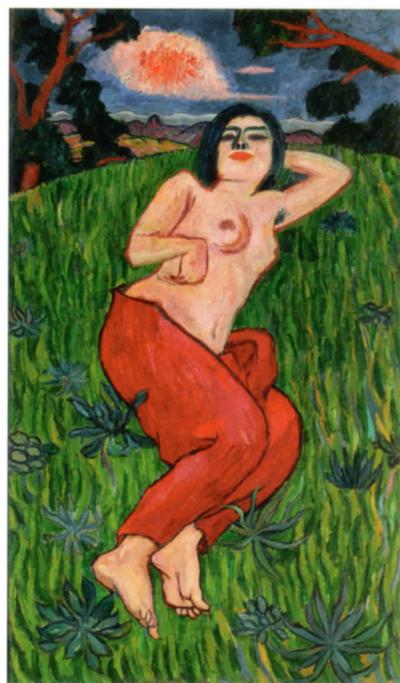
モデルのほうが 上から目線

萬鉄五郎《裸体美人》

1912(明治45)年 東京国立近代美術館蔵

東京美術学校の卒業制作で、19人中16番目という低評価だったにもかかわらず、「個性的な芸術家たちを輩出した大正時代の劈頭を飾る」記念碑的作品として2000年に重要文化財に指定されました。ゴッホの影響を示す早い時期の作品というだけでなく、近年の研究では、師の黒田清輝の作品と同じ題材を扱いながら、モデルと作者の視点のヒエラルキーを逆転させていることが明らかにされており、ジェンダー論的な意味でも興味深い作品です。

展示期間 通期



洋画



誰もが知る名作だけけれど…

黒田清輝《湖畔》

1897(明治30)年 東京国立博物館蔵

箱根の芦ノ湖畔に佇む浴衣姿の夫人を描いた涼やかなこの作品は、日本の油絵表現のひとつの典型的な作例として今日誰もが知る名作ですが、重要文化財に指定されたのは意外にもごく最近の1999年。実は、明治100年を記念して1967-68年に明治時代の作品がまとめて重要文化財に指定されたときに、この作品も最終候補まで残ったそうですが、最終的に選かられなかったといいます。果してその理由は……。詳しくは展覧会で。

展示期間 4月11日-5月14日

老いた猿の 見つめる先には？

高村光雲《老猿》

1893(明治26)年 東京国立博物館蔵

Image:TNM Image Archives

上野の西郷さんや皇居前の楠木正成像などでよく知られる高村光雲。本作はシカゴ万博で受賞した彼の代表作。猿の左手には鳥の羽根が握られています。鷲を捕えようとして取り逃がし、その飛び去る姿を睨みつける様子を表したものとされますが、万博では日本館の隣にロシア館があり、鷲はロシアを暗示していると、息子の高村光太郎は回想しています。欧米列強に肩を並べようとしていた明治の日本の姿をそこに見ることができてしまう。

展示期間 通期



彫刻

評価の分かれ目。 「装飾過多」は悪趣味？

初代宮川香山《褐釉蟹貼付台付鉢》

1881(明治14)年 東京国立博物館蔵

Image:TNM Image Archives

なぜか壺の上に、渡り蟹。本物そっくりですが、全部やきもの。壺は奇妙に変形されていて、露わになった土の質感と、だらりと流れる釉薬が一层グロテスクさを醸し出しています。明治の輸出工芸は「日本趣味」を過剰にまとった「欧米向け土産物」として評価の低い時代が続きましたが、1990年代以降、主に博覧会研究の進展によって再評価が進み、本作は精巧な手わざを示す明治工芸の代表作のひとつとして2002年に指定されました。いま「超絶技巧」性が脚光を浴びています。

展示期間 通期

工芸



観覧料 Admission

一般 Adults	1,800円
大学生 College and university students	1,200円
高校生 High school students	700円

チケット販売場所

■東京国立近代美術館
当日券のみ。混雑状況により、お並び頂く場合や予定枚数が完売している場合があります。

■展覧会公式ウェブサイト
予約優先チケットを公式ウェブサイト内で販売いたします。

Timed tickets may be reserved online via the official exhibition website. Same-day tickets are sold at the National Museum of Modern Art, Tokyo. See the official exhibition website for further details.

*いずれも消費税込。
*中学生以下、障害者手帳をご提示の方とその付添者(1名)は無料。
*本展の観覧料で入館当日に限り、同時開催の所蔵作品展「MOMATコレクション(10時間場)」もご覧いただけます。
*詳細は本展公式ウェブサイトおよび公式SNSをご確認ください。
*ご来館の際には東京国立近代美術館ウェブサイトの「美術館にご来館されるみなさまへ」をご確認ください。

* All prices tax included
* Junior-high-school students and under free
* Visitors with disabilities receive free admission along with one companion upon presentation of ID at entrance
* Ticket includes entry to the MOMAT Collection galleries which open at 10:00 a.m.
* Please read the "Requests to Visitors" notice on the museum website prior to your visit.

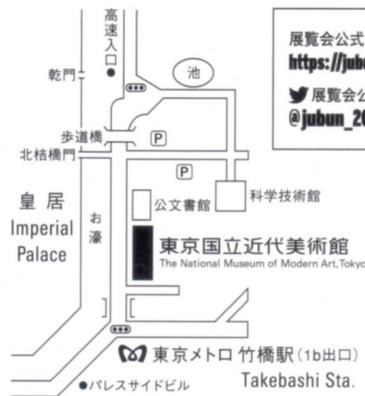
アクセス Access

問い合わせ
050-5541-8600
(ハローダイヤル)
<https://www.momat.go.jp/>

住所
〒102-8322
千代田区北の丸公園3-1

アクセス
東京メトロ東西線
竹橋駅1b出口 徒歩3分

Access:
A 3-minute walk from exit 1b of Takebashi Station, Subway Tozai Line (T-08)



展覧会公式ウェブサイト

<https://jubun2023.jp/>

展覧会公式Twitter

@jubun_2023

科学技術館

公文書館

池

高速度入口

北橋橋門

お濠

皇居 Imperial Palace

東京国立近代美術館

The National Museum of Modern Art, Tokyo

科学技術館

公文書館

池

高速度入口

北橋橋門

お濠

皇居 Imperial Palace

東京国立近代美術館

The National Museum of Modern Art, Tokyo

SECRETS OF IMPORTANT CULTURAL PROPERTIES:

AN EXHIBITION CELEBRATING THE 70TH ANNIVERSARY OF THE NATIONAL MUSEUM OF MODERN ART, TOKYO

東京国立近代美術館70周年記念展 重要文化財の秘密



「傑作」
までになる

「問題作」
が

史上初、ぜんぶ重要文化財

※明治以降の絵画・彫刻・工芸のうち重要文化財に指定された作品 ※会期中、展示替えがあります。

2023年3月17日(金) - 5月14日(日)

東京国立近代美術館 [竹橋] 

開館時間：9:30-17:00(金曜日、土曜日は9:30-20:00) *入館は閉館30分前まで

休館日：月曜日(3月27日、5月1日、8日は開館)

主催：東京国立近代美術館、毎日新聞社、日本経済新聞社 協賛：損害保険ジャパン、大仲社

Hours: 9:30-17:00 (Fridays and Saturdays open until 20:00)

*Last admission: 30 minutes before closing

Closed: Mondays (except March 27, May 1, 8)

当日券/一般 1,800円(税込)

切り離し無効

[出品目録]

SECRETS OF NATIONAL IMPORTANT CULTURAL PROPERTIES
AN EXHIBITION CELEBRATING THE 70TH ANNIVERSARY OF THE NATIONAL MUSEUM OF MODERN ART, TOKYO

東京国立近代美術館70周年記念展

重要文化財の秘密

2023年3月17日(金) - 5月14日(日)

東京国立近代美術館

主催：東京国立近代美術館、毎日新聞社、日本経済新聞社

協賛：損害保険ジャパン、大伸社

- 出品目録は、出品番号、作家名、作品名、制作年、所蔵、撮影可否、展示期間の順です。
- 出品番号は、本展図録および会場内の番号と一致しますが、展示の順序とは必ずしも一致しません。
- 都合により、出品作品や展示期間に変更が生じる場合があります。
- 作品保護のため、会期中、一部作品に展示替えがあります。
- 個人利用に限り、撮影禁止マークが付いている作品以外の会場内の写真撮影が可能です。フラッシュの使用、動画の撮影は禁止です。他のお客様の鑑賞を妨げるような撮影はご遠慮ください。なお、会場内の混雑状況により予告なく撮影を禁止する場合がございます。予めご了承ください。
- 展示室内の温度・湿度・照明は、作品保護に関する国際的基準と慣例、所蔵者の貸出条件に従って調整されています。ご来場の方々にとって理想的な環境ではない場合もございますが、ご了承ください。
- 本展の出品作品は、明治以降の絵画・彫刻・工芸で重要文化財に指定された全68件（2023年3月時点）のうち51点です。「68点」ではなく「68件」としたのは、狩野芳崖《悲母観音》や竹内栖鳳《絵になる最初》においては関連する下絵（本展不出品）もあわせて指定されているためです。



東京国立近代美術館

出品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵	撮影禁止作品	展示期間
1	狩野芳崖 かのうほうがい	不動明王図 ふどうみょうおうず	1887(明治20)年	東京藝術大学		3月17日-4月2日
2	狩野芳崖 かのうほうがい	悲母観音 ひぼかんのん	1888(明治21)年	東京藝術大学		4月25日-5月8日
3	橋本雅邦 はしもとがほう	白雲紅樹 はくうんこうじゆ	1890(明治23)年	東京藝術大学		4月4日-4月23日
4	菱田春草 ひしだしゅんそう	王昭君 おうしやうくん	1902(明治35)年	善寶寺(東京国立近代美術館寄託)		3月17日-4月16日
5	菱田春草 ひしだしゅんそう	賢首菩薩 けんしゅほさつ	1907(明治40)年	東京国立近代美術館		3月17日-4月16日
6	菱田春草 ひしだしゅんそう	黒き猫 くろねこ	1910(明治43)年	永青文庫(熊本県立美術館寄託)		5月9日-5月14日
7	横山大観 よこやまたいかん	瀟湘八景 しょうしやうはっけい	1912(大正元)年	東京国立博物館		3月17日-4月9日
8	横山大観 よこやまたいかん	生々流転 せいせいりてん	1923(大正12)年	東京国立近代美術館		通期
9	今村紫紅 いまむらしこう	近江八景 おうみはっけい	1912(大正元)年	東京国立博物館		4月18日-5月14日
10	今村紫紅 いまむらしこう	熱国 ^の 巻 ねつこくのまき	1914(大正3)年	東京国立博物館		朝之巻:3月17日-4月16日 夕之巻:4月18日-5月14日
11	竹内栖鳳 たけうちせいほう	絵になる最初 えになるさいしょ	1913(大正2)年	京都市美術館		5月2日-5月14日
12	富岡鉄斎 とみおかてっさい	阿倍仲麻呂明州望月図・ 円通大師吳門隱栖図 あべのなかまろめいしゅうぼうげつず えんつうだいしごもんいんせいす	1914(大正3)年	公益財団法人辰馬考古資料館		5月2日-5月14日
13	下村観山 しもむらかんざん	弱法師 よろほし	1915(大正4)年	東京国立博物館		4月11日-5月1日
14	川合玉堂 かわいぎよくだう	行く春 ゆくはる	1916(大正5)年	東京国立近代美術館		3月17日-5月1日
15	松岡映丘 まつおかえいきやう	室君 むろぎみ	1916(大正5)年	永青文庫(熊本県立美術館寄託)		4月18日-5月14日
16	平福百穂 ひらふくひやくすい	豫讓 よじやう	1917(大正6)年	永青文庫(熊本県立美術館寄託)		3月17日-4月16日
17	土田麦僊 つちだばくせん	湯女 ゆな	1918(大正7)年	東京国立近代美術館		5月2日-5月14日
18	村上華岳 むらかみかかく	日高河清姫図 ひだかがわきよひめず	1919(大正8)年	東京国立近代美術館		5月2日-5月14日
19-1	鏑木清方 かぶらききよかた	築地明石町 つきじあかしちやう	1927(昭和2)年	東京国立近代美術館		3月17日-4月16日
19-2	鏑木清方 かぶらききよかた	新富町 しんとみちやう	1930(昭和5)年	東京国立近代美術館		3月17日-4月16日
19-3	鏑木清方 かぶらききよかた	浜町河岸 はまちやうがし	1930(昭和5)年	東京国立近代美術館		3月17日-4月16日
20	鏑木清方 かぶらききよかた	三遊亭円朝像 さんゆうていえんちやうぞう	1930(昭和5)年	東京国立近代美術館		3月17日-4月16日

出品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵	撮影禁止作品	展示期間
21	まえ だ せい せん 前田青邨	どう くつ より とも 洞窟の頼朝	1929 (昭和4) 年	大倉集古館		4月18日-5月14日
22	こ ばやし こ けい 小林古徑	かみ 髪	1931 (昭和6) 年	永青文庫 (熊本県立美術館寄託)		4月18日-5月14日
23	ふく だ へい ちろう 福田平八郎	きんぬ 漣	1932 (昭和7) 年	大阪中之島美術館		3月17日-4月16日
24	うえ むら しゅう せん 上村松園	ぼ し 母子	1934 (昭和9) 年	東京国立近代美術館		4月18日-5月14日
25	やす だ けき ひこ 安田靫彦	き せ がわの じん 黄瀬川陣	1940/1941 (昭和15/16) 年	東京国立近代美術館		通期
26	たか ばし ゆ いち 高橋由一	さけ 鮭	1877 (明治10) 年頃	東京藝術大学		通期
27	やま もと ほう ずい 山本芳翠	ら ふ 裸婦	1880 (明治13) 年頃	岐阜県美術館		通期
28	あさ い ちゅう 浅井忠	しゅん ば 春畝	1888 (明治21) 年	東京国立博物館		3月17日-4月9日
29	あさ い ちゅう 浅井忠	しゅう かく 収穫	1890 (明治23) 年	東京藝術大学		通期
30	ほら だ なお し ろう 原田直次郎	き りゅう かん の ん 騎龍観音	1890 (明治23) 年	護國寺 (東京国立近代美術館寄託)		通期
31	くろ だ せい き 黒田清輝	こ はん 湖畔	1897 (明治30) 年	東京国立博物館		4月11日-5月14日
32	ふじ しま たけ じ 藤島武二	てん びょう おも かげ 天平の面影	1902 (明治35) 年	石橋財団アーティゾン 美術館		通期
33	あお き しげる 青木繁	わだつみのいろこの宮 ^{みや}	1907 (明治40) 年	石橋財団アーティゾン 美術館		通期
34	わ だ さん ぞう 和田三造	なん ふう 南風	1907 (明治40) 年	東京国立近代美術館		通期
35	よろ づてつ ご ろう 萬鉄五郎	ら たい び じん 裸体美人	1912 (明治45) 年	東京国立近代美術館		通期
36	まし だ りゅう せい 岸田劉生	どう ろ ど て へい 道路と土手と堀 (切通之写生)	1915 (大正4) 年	東京国立近代美術館		通期
37	まし だ りゅう せい 岸田劉生	れい こ び しょう 麗子微笑	1921 (大正10) 年	東京国立博物館		4月4日-5月14日
38	せき ね しょう じ 関根正二	しん こう かな 信仰の悲しみ	1918 (大正7) 年	大原美術館		通期
39	こ いで なら しげ 小出樫重	N の 家族 ^{か ぞく}	1919 (大正8) 年	大原美術館		通期
40	なか むら つね 中村彝	エロシエンコ氏の像 ^{し ぞう}	1920 (大正9) 年	東京国立近代美術館		通期
41	たか むら こう ぶん 高村光雲	ろう えん 老猿	1893 (明治26) 年	東京国立博物館		通期
42	しん かい たけ た ろう 新海竹太郎	ゆ あみ	1907 (明治40) 年	東京国立近代美術館		通期

出品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵	撮影禁止作品	展示期間
43	おぎ わら もり え 荻原守衛	ほうじょうとら きち ぞう 北條虎吉像	1909 (明治42) 年	公益財団法人碌山美術館		通期
44	あさくら むみ お 朝倉文夫	はか もり 墓守	1910 (明治43) 年	台東区立朝倉彫塑館		通期
45	しょ だい みや がわ こう ざん 初代宮川香山	かつ ゆう かに はり つげ だい つき ぼち 褐釉蟹貼付台付鉢	1881 (明治14) 年	東京国立博物館		通期
46	しょ だい みや がわ こう ざん 初代宮川香山	おう ゆう さび え ばい じゆ ず たい へい 黄釉銹絵梅樹図大瓶	1892 (明治25) 年	東京国立博物館		通期
47	さん だい せい ふう よ へい 三代清風与平	はく じ ちよう ぼ たん うき もん たい へい 白磁蝶牡丹浮文大瓶	1892 (明治25) 年	東京国立博物館		通期
48	すず き ちようきち 鈴木長吉	わし おき もの 鷺置物	1892 (明治25) 年	東京国立博物館		通期
49	すず き ちようきち 鈴木長吉	じゅう に たか 十二の鷹	1893 (明治26) 年	国立工芸館		通期
50	なみ かわ そう すけ 濤川惣助	しつ ほう ふ がく ず がく 七宝富嶽図額	1893 (明治26) 年	東京国立博物館		通期
51	いた や は ざん 板谷波山	ほ こう さい じ ちん か もん か びん 葆光彩磁珍果文花瓶	1917 (大正6) 年	泉屋博古館東京		通期